

科目名	国語Ⅲ JapaneseⅢ			担当教員	長谷川 隆		
学年	3年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	14120024	単位区分	履修単位
学習目標	1. 現代文や古典の読解を通して、他人の物の見方や考え方を知る。 2. 正しい日本語で表現するための基礎を身につける。						
進め方	講義形式を基本とする。予習・復習に努めてほしい。また、意見を書いたり発表したりしてもらうことがある。原則として週に1回漢字小テストを実施する。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	※全体ガイダンス(1) 1. 評論(5) (1) 聴くということ(鷲田清一) 2. 小説(8) (1) 鞆(安部公房)			・聴くことの意義を理解する。(聴くということ) ・「鞆」が何を象徴しているか理解できる。(鞆) 学習・教育目標：(A) 学習・教育目標：(D)			
	[前期中間試験](2)						
	※試験解説(1) 3. 表現(13) (1) 国語表現の実践 ア. 事実を客観的に イ. 推敲 ウ. 構想表 エ. 議論文 オ. 手紙文			・正しい日本語で表現するための基礎的事項を理解する。 学習・教育目標：(D)			
	前期末試験						
	※試験解説(1) 4. 評論(5) (1) ある〈共生〉の経験から(石原吉郎) 5. 小説(8) (1) ころろ(夏目漱石)			・生きるための共生があることを理解する。 (ある〈共生〉の経験から) ・先生とKの行動を自分なりに納得できる。 (ころろ) 学習・教育目標：(A) 学習・教育目標：(D)			
	[後期中間試験](2)						
	※試験解説(1) 6. 古文(13) (1) 万葉の歌、王朝の歌、新古今の歌 (2) 発句(芭蕉・蕪村・一茶)			・和歌の修辞・リズム・内容を理解する。(万葉の歌、王朝の歌) ・和歌と発句(俳句)の違いについて理解できる。(発句) 学習・教育目標：(A) 学習・教育目標：(D)			
後期末試験							
試験返却(1)							
評価方法	1. 評価の内訳：漢字小テストの成績を10%、演習問題・読書ノート・夏休み課題文等の提出物を15%、定期試験を75%とする。 2. 学習項目ごとの全体評価への重みは、1～4のそれぞれについて、各25%とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	国語Ⅰ(1年)→国語Ⅱ(2年)→国語Ⅲ(3年)→文学特論Ⅰ(4年) →古典文学(専攻科2年)						
教材	教科書：高等学校現代文改訂版 三省堂 柴田武他編 問題集：高等学校現代文[改訂版]課題ノート 三省堂 高等学校現代文編集委員会 教科書：新編古典 筑摩書房 鈴木日出男他編 漢字：級別漢字学習4級～2級 東京法令出版 赤羽靖他 表現：基礎からの国語表現の実践 京都書房 樺島忠夫・佐竹秀雄共著 辞書：電子辞書等(国語辞典 古語辞典 漢和辞典)						
備考	再試験は適切な時期に行う。						